

長岡市議会議員

## 松井一男の

# 市議会だより

第二十一号(令和三年二月発行)

日増しに暖かくなってまいりました。今冬は降り始めの豪雪に驚かされましたが、その後は比較的に過ぎしやすい日々だったようです。新型コロナウイルスの影響で、落ち着かないこの頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

この市議会だよりは、市議会や市政のようすを皆様がたに分かりやすくお知らせするために、長岡市議会政務活動費を活用してお届けしているものです。お読みになった感想やご意見ご質問をお寄せいただければ幸いです。

松井一男



ご意見ご感想はこちらまで  
メール [kazuo\\_m@nct9.ne.jp](mailto:kazuo_m@nct9.ne.jp)  
(QRコードからも送れます)



### 長岡市 令和三年度予算

磯田市長は予算編成の方針を「直面する危機から市民を守り、暮らしやすく、選ばれるまちをつくる予算」とし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に全力を尽くすと決意を示されました。

予算案は、三月一日開会の市議会三月定例会で審議が行われ、三月二十二日最終本会議において議決しました。

一般会計は一千三百一億円(前年比0.7%減)、特別会計、企業会計含めた総予算は二千百五十七億円(前年比0.3%増)となります。

新型コロナウイルス感染症対策関係経費は総額八億七千万円で、市民の命や健康と地域経済を守るため、国の補正予算で配分される地方創生臨時交付金を活用し、感染拡大防止や、地域の経済対策などに取り組むとしています。

経済対策として新年度予算を前倒しし、三月から切れ目なく事業を実施し、令和二年度予算三月補正分と令和三年度当初予算を合わせると、身近な道路の整備や浸水被害対策などに使われる普通建設費は百七十三億円となります。

市の貯金にあたる財政調整基金については、新型コロナウイルスの影響で市税などが大幅に減少する見込みの中で、持続可能な行財政運営プランの着実な推進などにより財源の確保に努め、財源不足を補う取り崩しを三億五千万円にとどめ、基金残高は八十六億円となる見込みです。

### 新年度予算の柱について

新年度予算は四つの大きな視点で組み立てています。

①新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする市民に及ぼす危機への対応。

(円滑なワクチン接種、感染拡大防止、医療支援、経済の下支え、自然災害対策、鳥獣害対策など)

②市民の活力を生み、安心して暮らせる地域づくりの推進。

(医療福祉の充実、健康づくり、子育て支援、生活環境整備など)

- ③ 未来への投資と地方分散の受け皿づくり(企業誘致・移住定住、地域産業の活性化、人材育成・教育環境整備など)
- ④ 持続可能な行財政運営(財源確保、行政サービスの最適化・高質化など)

### 主要事業について

4つの柱に基づいた主要な事業は以下のとおりです。

- ・ 市内病院の医療提供体制を継続支援。
  - ・ PCR検査センターの運営支援
  - ・ 寿町排水ポンプ場の建設促進
  - ・ 地域活動拠点施設の整備(栃尾交流拠点、中之島コミセン上通分室)
  - ・ 病児・病後児保育の拡充強化
  - ・ 児童館・児童クラブの運営、新規整備(青葉台、上川西、上通)
  - ・ 地域公共交通の確保維持(地域交通社会実験、デマンド交通の運行)
  - ・ 中之島新ごみ処理施設の整備
  - ・ 産業イノベーションの推進(5G利活用、バイオ、ロボット、AIなど)
- また、主な新規事業は
- ・ ホテルを利用した家庭内感染防止を支援
  - ・ 雪下ろし用命綱アンカーの補助
  - ・ 鳥獣害対策として不要果樹伐採費用補助

- ・ 北陸道大積スマートIC(仮称)の新設・周辺道路整備
- ・ 長岡版スマートアグリ推進(ICT技術を活用した土作り・水管理の取組)
- ・ 地球温暖化防止に向けた二酸化炭素排出抑制策(カーボンニュートラル)の取組の推進
- ・ 持続可能な行財政運営プランの推進

### 中之島地域の主要事業

中之島地域では、公共下水道事業が概成しました。新年度は引き続き、生活に密着した道路や水路の整備と維持管理を行うこととされています。

- 主な事業としては、
- ・ 中之島コミセン上通分室(仮称)の建設工事【新規】一億五千三百万円
  - ・ 中之島新ごみ処理施設の建設(中条新田)十億五千三百万円
  - ・ 新たな産業団地の整備検討(候補地の検討等)【継続】千四百万円
  - ・ 道路改良費など
- |                |      |
|----------------|------|
| 市道中之島706号線(真弓) | 175m |
| 市道中之島879号線(赤沼) | 110m |
- ほか、道路改良等8ヶ所、舗装修繕等7ヶ所、消雪パイプ修繕、橋梁修繕設計などです。

### 中之島地域公共下水道が概成

平成二年(1990年)の事業認可、翌年の工事着手以来、三〇年間と百六十二億円(処理場四十四億円、管路百十八億円)の巨費を投じて、総延長百十二kmに及ぶ管路と西高山新田に処理場が整備されました。

着工当時の予算規模では、旧中之島町内全域の整備完了までには半世紀以上かと思われていましたが、平成十七年(2005年)の長岡市合併以降は、予算の重点配分がされたこともあり、今春の中之島西野地内の工事完了で概成を見ました。

先人の努力と携わった方々のご尽力に深く感謝を表したいと思います。

今後は、せっかく造った施設ですから、多くのご家庭で下水道に接続していただき、清潔で安全な環境で生活できるように、引き続き皆様の理解と協力が必要となります。

